

2018年11月26日「目配り、気配り、心配り」について

※一言要約： **仕事がスムーズにいく「目配り、気配り、心配り」とは！**

今回は、よく聞く、「目配り、気配り、心配り」の違いを考えてみましょう。

- ① 目配り : 自分のことばかりではなく、
周囲にも目を向けられるような余裕を持つ！
- ② 気配り : 相手のことを考えて行動をする！
自己中心的に動いても、仕事はまわりませんよね。
- ③ 心配り : 協力しようというキモチを持つ！
困っている同僚がいたら、見てみぬふりをしないで、
率先して手を差し延べてあげる。

もう少し、具体的に考えてみましょう。

比較的判り易い「ホテルナンカイ倉敷」の実話で、一例を示します。

- ① 客が食事中に薬をテーブルに出したことに気づく＝「目配り」、
- ② それを見て水が必要と感じる＝「気配り」、
- ③ さらに冷たい水では薬が溶けにくいので人肌のお湯(水)を持っていく＝「心配り」

上記、「目配り、気配り、心配り」を自分の職場、周りの人達に当てはめて考えてみましょう。結構気づいていないことがあるのではないのでしょうか？

それが、出来るようになれば、仕事はスムーズの回りだすと思います。

ぜひ、挑戦してみてください。